

令和6年度 まちづくりの集い（斑鳩地区）

概 要

日 時：令和6年9月12日（木） 19時00分から20時10分

場 所：太子町役場行政棟3階 ホール

令和6年度 まちづくりの集い 概要

1. 開催日時及び場所

日 時 令和6年9月12日(木)
開会：19時00分 閉会：20時10分
場 所 太子町役場行政棟3階 ホール

2. 町出席者

町 長 沖汐 守彦
副町長 榮藤 雅雄
教育長 糸井 香代子
総務部長 森 文彰
生活福祉部長 嶋津 一弥
経済建設部長 富岡 泰造
教育次長 福井 照子

<事務局>

総務部企画政策課（まちづくりの集い所管課）

課 長 山崎 将
副課長 佐々木 悟
主 事 西林 知穂

総務部総務課（行財政改革所管課）

課 長 栗田 政知
副課長 高見 良
行革推進員 山本 紀弘

3. 参加者

太子町連合自治会
太子町PTA 連絡協議会 など
計14名

4. 住民懇談・意見交換概要

別記にて記載する。

1. 開会あいさつ

沖汐町長

【開会あいさつ】

2. 町出席者紹介

山崎課長

【町出席者紹介】

3. 行政報告：持続可能なまちづくりに向けて一行財政改革の取組一

沖汐町長

【説明】

高見副課長

【説明】

4. 住民懇談・意見交換

住民 A

斑鳩地区は農村部と住宅地との格差があると思いますが、市街化調整区域の緩和により、住宅が建てられるように考えてもらえれば嬉しいです。空き家対策についても、解消に向けて取り組んでいただきたいです。

また、和らぎ広場については、若い人たちが利用できるような活用方法を協議会と町が一緒になって考えていきたいと思っています。

行財政改革の取組として挙げられた公共施設の最適化について、斑鳩公民館や斑鳩幼稚園の施設が今後どうなっていくのかということ、斑鳩地区の皆さんは不安を感じられていると思います。

加えて、斑鳩幼稚園の今後の在り方ですが、以前と比べて子どもが減っているように感じますので、今後も幼稚園として成り立っていくのか不安に感じています。

最後に、旧庁舎跡地にディスカウントストアが出店予定とのことですが、交通渋滞や交通事故等、地元の周辺自治会の迷惑にならないように配慮いただければと思います。

福井次長

斑鳩公民館の在り方については、どうすれば皆さんに活用していただきやすいか、現在検討しているところです。

教育長

斑鳩幼稚園につきまして、今年から3歳児を受け入れているということ、朝の延長保育の時間を30分延長したことなどにより、今年の園児数は微増しています。

一方で幼稚園に通う子どもの数は全国的に減っていて、今のところ現状どおりの幼稚園教育を続けていく予定ですが、状況を見ながら、統合なども視野に入れ、研究していく必要があると考えています。

富岡部長

現在、阿曾地区において、特別指定区域制度を使い、地元のまちづくり協議会が新規居住可能なエリア指定を行い、民間による開発が行われています。

市街化調整区域で新規居住地域を設定する方法として、地域と町が協働でエリア設定を行い、県の特別指定区域制度を活用して、新規居住地域を

設置することを考えています。

また、阿曾地区については農用区域が広がっていますが、町として守るべき農村風景や環境は守り、活用できる土地については用途変更等により活用できるよう、土地利用を考えています。

地区は別ですが、あすかホールの西側に都市計画道路龍野線という新しい道路ができつつある箇所について、隣接した土地の用途を見直す予定にしています。

現段階では住居地域となっていて、住宅地として利用するのが一般的ですが、買い物ができる施設を誘致すべく、用途地域の緩和を考えています。

森部長

旧庁舎跡地の騒音や渋滞への対策等につきましては、現在、担当課と先方で協議中です。

開店の際には従業員として、地元採用を積極的に行いたいともお聞きしていて、心配な面ばかりではなく、地域の活性化につながるものと考えています。

副町長

和らぎ広場とまちづくり協議会については、その活性化について、町との協働ができるよう、今後協議していきたいと思います。

町長

旧庁舎跡地については町が貸主ですので、何かありましたら遠慮なく私どもにおっしゃってください。

住民 B

PTA と自治会とのつながりが大事だと思います。

自治会長の皆さんから学ぶことも多いでしょうし、子育て世代がさらに協力できることもあるかと思いますので、今以上に関わりの場があればいいのではないかと思います。

また、斑鳩寺や和らぎ広場については YouTube で発信したりするなど、明るいイメージで PR していけたら良いのではないかと思います。

住民 A

斑鳩地区全自治会長と PTA の繋がりについては、これから協議の中で良い方法がないか見つけていき、発展させていければと思います。

また、青少協の役員に校区の連合自治会長である私が入っていますが、その中に小中学校の PTA 会長さんがおられますので、何かありましたらその場を通して言っていただければ、連合自治会の会議に場を設けますので、機会がありましたらそのようなこともしていければと思います。

富岡部長

宮本公園に寄贈されました宮本武蔵の銅像と併せて、斑鳩寺についても情報発信を行っていきます。

また、毎年、観光協会が企画しているバスツアーについても情報発信を行っていきます。

住民C 子どもたちが将来太子町に戻ってこようと思えるように、太子町の歴史を学校で教え、郷土愛を醸成すべきではないかと思います。

教育長 各小学校で「わたしたちの太子町」という副読本を使用した授業を3、4年生で行っています。

また、今年は斑鳩小学校150周年記念事業を行い、皆様にもお世話になりましたが、子どもたちは地域との繋がりを大切に感じていると思います。

ふるさと教育については小学校でも中学校でも、今後も力を入れていきたいと考えています。

住民D 災害に備えて自治会が備蓄しておくべきものが示されることもなく、いざというときにどこに何を取りに行けばよいのかわかりません。要支援者を誰が避難させるのかという話もありません。

全ての自治会が災害対策について認識しておられるのか、確認をいただければと思います。

山崎課長 原則、町では避難所にいらっしゃる方に提供する物資を備蓄していて、災害の規模により避難期間がどの程度になるかわかりませんが、避難所で1日を過ごしていただける量を、各小学校と町内複数箇所に設置した備蓄倉庫に計画的に備蓄しています。

自主防災組織が備蓄品の配備を行う際には、県の補助も活用いただけますので必要な備蓄品の情報と併せて周知をさせていただきます。

要配慮者の避難支援については地域の協力をいただきながら避難いただく計画を個別に作成していますので、地域の方や支援いただく方、町の担当課と情報共有を進め、情報提供が足りない部分については今後、取り組んでいきます。

町長 防災は命に関わるものですが、各自治会で温度差もあり、自治会長さんの会長としての年数も様々かと思しますので、町へのご質問の回答も含めて、各校区の連自治会長さんと協議しながら個別に対応させていただきます。

5. 閉会あいさつ

榮藤副町長

【閉会あいさつ】